

2023 年度 あしあと

うさぎ山ファンの皆さんがつづる
プレイパークでのあれこれ



22 年前 子どもの時にうさぎ山で遊んでいた青年が投稿してくれました

うさぎ山と過ごした半生

2001 年の 3 月、例年よりは遅めの雪が降る中、うさぎ山は 0 歳の誕生日を迎えたと聞く。その 4 か月後に生まれた私は今年で 22 になる。小学生までは毎日のようにうさぎ山で遊んでおり、人生の半分近くを共に過ごしていた。

うさぎ山に行けば必ず誰かがいて、そこにいた全員が兄弟姉妹のようであった。遊んだことや喧嘩したこと、怪我したことなど思い出には事欠かないが、今一番記憶に残っているのはうさぎ山で過ごしながらかんじたことだ。最も忘れられない教訓は工夫することである。例えば木工するとき、例えば火をつけるとき、例えば倉庫に上る時。いつも面倒を見てくれていたお兄さん方は決して何もかもを助けようとはせず、自分で考えさせるようにしていた。そのうえでこちらが一人でできるようになるまで待っていてくれた。こういった経験は自分の根幹を成していると感じている。今は環境を専攻し大学院に進学しようとしているが、ここでの日々が無ければ全く違う道をたどっていたかもしれない。そして何より、全てを人に聞かすまは自分で試してみる精神は研究活動にも役立っている。

すでに横浜を離れ 3 年が経とうとしているが、うさぎ山で過ごした日々は私の糧となっている。ここまで育ててくれたプレイリーダー、世話人さん、そしてずっとそばで見守ってくれた全ての親に感謝して挨拶と代えたい



22 歳